

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善（例）

【学 年】 中学校第 1 学年

【単元名】 福祉交流会を充実させよう（15 時間扱い）

【育成する資質・能力】〔思考力，判断力，表現力等〕

全体計画における資質・能力	単元計画における資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> <li>・複雑な問題状況の中から、適切に課題を設定する。</li> <li>・課題解決を目指して事象を比較したり，因果関係を推測したりして考える。</li> <li>・異なる意見や他者の考えを尊重した上で，自分の考えを分かりやすく伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流を通して高齢者の様子に目を向け，活動の目的や自分は何かできるかを考えて，課題を見いだしている。</li> <li>・様々な課題を分析し，適切な計画を立てたり臨機応変に対応したりして課題を処理しようとしている。</li> <li>・調べたことや考えたことをまとめ，相手に対して目的や意図に応じて分かりやすく表現している。</li> </ul>

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「デイサービスを訪問しよう」では，おじいさん，おばあさんに喜んでもらうことができるように，自分たちが考えたゲームや歌を発表した。

働かせる見方・考え方：福祉交流での人との関わりから，自らを見つめ直すこと。

階	学習活動（時間）	留意点
対象と出会い課題をもち	1 1 回目の訪問での交流を振り返る（1）	<p><b>対象と出会い，問いを見いだす場面</b></p> <p>☞ 1 回目の訪問でどんな点が課題として残ったか 2 回目の訪問に向けて問いを見いだせるようにする。</p> <p>問い：交流を充実させるにはどうしたらいいだろうか。</p>
繰り返し対象へ働きかけ	2 楽しんでもらえる交流には，どうしたらよいか考え，話し合う（2）	<p><b>自ら課題を設定し，追究の見通しをもつ場面</b></p> <p>☞ どんな交流にするかそのためにはどんなことをしたらよいか活動の見通しをもつようにする。</p>
自分の考えをまとめる	3 施設の職員の方の話を聞いたり，福祉体験をしたりする（2）	<p><b>グループで情報収集し，整理・分析する場面</b></p> <p>☞ 相手の様子を知るために，職員の方から話を聞いたり，実際に福祉体験をしたりして，交流に対する相手意識が高まるようにする。</p> <p>☞ 自分たちが調べてきたり，準備してきたりしたことをもとにして，自分たちも相手も互いに楽しめる交流になるようにする。</p>
	4 交流に向けて，グループごとに準備をし，2 回目の交流を行う（8）	
	5 交流での活動を振り返り，学習のまとめをする（2）	<p><b>まとめ・表現をし，自己の学びを自覚する場面</b></p> <p>☞ 交流会でのおじいさん，おばあさんの様子から，活動のよさを自覚する場を設ける。</p>

次単元へのつながり：2 回の交流から，地域にある他の福祉施設の訪問を計画したり，地域の高齢者の方のできることを考えたりする。